

授業見学

吹奏楽アカデミー専攻「マーチング概論Ⅰ－Ⅱ」

声楽専攻「舞台基礎入門講座」

2020年1月10日・17日に池袋キャンパスで行われた1年生の2つの授業を見学した。

・吹奏楽アカデミー専攻 「マーチング概論Ⅰ－Ⅱ」（J館スタジオ）



今年度の開講した本専攻では、一期生8名が学ぶ。「マーチング」は選択必修科目だが、この8名全員が履修している。

『アカデミー』にふさわしく、「マーチングとは」から始まり、「スコアの分析」など座学にも重点を置いているので、これまでの実技の回数はまだそんなに多くはないという。

そんな中、当日はこれまでに学んだことを復習していた。指導は井芹康貴客員教授。授業は厳しく、しかし楽しく進行していく。うまくいかなかった時には、全員が大笑い。

井芹先生によると「学生自身がマーチング・プレイヤーになるのではなく、指導者になって苦手な子にもマーチングの楽しさを教えることが大切なのです。またマーチングをやることで、その成果は必ず座奏に現れます」。

授業の合間に学生たちに卒業後の進路を聞いてみた。「音楽の教員で、吹奏楽部の顧問」というのが多かったが、「この専攻に入って、はじめて本当の楽器演奏の楽しさがわかった。演奏家になりたい」という学生や「まだ決めない、いろいろな可能性があるので」という声もあった。



授業中



休憩中

・声楽専攻「舞台基礎入門講座」（B館 500 教室）



授業前の準備



最後は全員で「フィガロ」フィナーレの合唱

この講座は、開講2年目となった。当日は授業といっても、試験を兼ねた試演会。課題は「フィガロの結婚」（原語）の中のいくつかのアンサンブル・シーン。10日・17日の2回にわたって行われた。

「『どう表現するのか』『客席からはどう見られているのか』を意識して演じる」という主旨の講座の成

果をそれぞれの組が披露した。

各組が独自に考えて舞台に乗るので、演技と歌唱の表現の可能性がいろいろあり興味深く見ることができた。おもしろいと客席側の学生からも笑いが漏れたりした。そして、歌い終わった学生たちは緊張が解けて、みな満足げだった。



先生の講評

ふたつの授業とも、**1年生の学生たちの生き生きとした表情と、音楽する本当に楽しげな様子が実に印象的だった。**これらの授業は、前者がNHKの、後者は雑誌「ハンナ」の取材を受けた。世間から注目される2専攻なのだ。

広報課

NHK (Eテレ)「らららクラシック ♪」2020年2月28日午後9時30分～放映予定

「ハンナ」2020年春号 No.50 2020年3月18日発売

● 3月28日には吹奏楽アカデミー専攻のオープンキャンパスが開催されます
詳細はHPにて ▶ https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/open_campus

● 声楽オープンキャンパスは6月28日を予定しています